

申込延長

令和6年度 神戸市

障害者施設職員スキルアップ研修



～障害者施設における福祉援助職の「可能性」を考える～

【趣 旨】

障害者施設の支援現場において、中心的役割を期待される概ね職員2～5年目職員を対象に、障害者施設における支援に関する知識・技術について学ぶとともに、受講者間の相互の学びあい、情報交換等を積極的に行い、施設を越えた関係づくりを進めることにより、現職場での障害者支援の仕事への意欲を高め、かつ、障害者支援現場の活性化を図ることを目指す。

【研修概要】

- 講義、個別・グループ演習、事例検討等を通して、障害者施設における支援に関する知識・技術を学ぶ。
（「社会福祉の視点」「福祉援助職の価値・倫理」「意思決定支援」「働きやすい・利用したい施設」「障害者虐待」等についての理解を深める。）
- 各プログラムにて、個別・グループ演習等、情報交換等を積極的に行える関係づくりの機会を設ける。

【日 程】 2日間1コース 令和7年 2月13日(木)9:30～17:00

14日(金)9:30～17:30

【会 場】 こうべ市民福祉交流センター 201 教室（所在地：中央区磯上通 3-1-32）

【受講対象者】 ①市内の障害者施設（神戸市知的障害者施設連盟・神戸市身体障害者施設連盟・神戸市精神障害者社会復帰施設連盟・各加盟施設）で実務を行う支援職員であり、現在の勤務先で職務経験年数が、概ね2年から5年程度の方
②全2日間の研修に出席できる方 ① ②を満たす方
※どちらか1日のみの出席でも申込可

【講 師】 武庫川女子大学心理・社会福祉学部 教授 與那嶺 司 氏
関西福祉大学社会福祉学部 教授 岡崎 幸友 氏



【参加費】 無料 【募集人員】 40名（申込多数の場合、抽選）

【申込方法】 各施設・事業所の所属長・責任者の許可を得た上で、市民福祉大学ホームページ(<https://www.shiminfukushidaigaku.jp>)より令和7年2月11日(火)までに、お申込みください。

【受講決定】 受講の可否は、申込締切後にEメールにてお知らせします。

【事前課題】 ・事前課題として支援事例を提出いただきます。
『困っている支援事例』をA4用紙半分～1枚程度(2日目のグループ・ディスカッションで使用)
※2月11日(火)までに市民福祉大学へEメールにてデータをご送付ください。
・受講申込書に記載された個人情報、研修運営の目的にのみ使用します。
なお、本研修の受講者名簿に氏名・所属施設名を記載し、受講者に配布します。



詳細なプログラムは裏面をご覧ください!



【研修プログラム】 ※プログラムは多少変更することがあります。

1日目

9:30~10:15 オリエンテーション・自己紹介

10:15~11:15 自分の価値観とその背景を考える：“バラバラ”でいい「私」の価値観

11:15~11:20 休憩(10分)

11:20~12:10 社会福祉援助の視点とは：生活問題を捉える枠組み

12:10~13:00 昼休憩(50分)

13:00~14:00 障害のある当事者の視点：どのような想いを抱いているのか

14:00~14:10 休憩(10分)

14:10~15:00 福祉援助職に求められる価値・倫理

15:00~15:10 休憩(10分)

15:10~17:00 障害者の意思決定とその支援



2日目

9:30~10:20 障害者福祉における価値：ノーマライゼーション

10:20~10:30 休憩

10:30~11:40 障害のある人の「ふつうの暮らし」を考える

11:40~12:40 昼休憩

12:40~14:00 福祉援助職にとって「働きやすい職場環境づくり」を考える

14:00~14:10 休憩

14:10~14:50 障害のある人への虐待をどう防ぐか：障害者虐待防止法の基礎知識

14:50~15:00 休憩

15:00~17:00 障害者施設における福祉援助職の「可能性」とは：事例検討を通して「学び」を整理する

17:00~17:25 まとめ

17:25~17:30 全体写真撮影



【主催】 神戸市・社会福祉法人神戸市社会福祉協議会

【お問い合わせ先】 社会福祉法人神戸市社会福祉協議会 市民福祉大学（担当：高谷・井ノ下）

住所：神戸市中央区磯上通 3-1-32 こうべ市民福祉交流センター内

電話：078-271-5300 FAX：078-271-5365 E-mail：daigaku@with-kobe.or.jp